**SMBファイル共有機能**

**設定/利用ガイド**



※本ガイドは、複合機「bizhub C658/C558/C458/  
C368/C308/C258」を例に説明をしています。

他の機種の場合も操作方法は同じです。

本ガイドでは、SMBファイル共有機能を複合機で利用するために必要な設定/利用方法を説明します。SMBファイル共有機能以外の機能については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

# はじめに

SMBファイル共有は、本機をSMBサーバーとして動作させ、本機の共有ボックス内のファイルをネットワーク上で共有する機能です。

ネットワーク上の共有フォルダーを参照するのと同じように、PCから装置に接続し、共有ボックス内のファイルを簡単に取出すことができます。

SMBファイル共有機能を利用するための事前設定を行います。「[**2. 環境構築編**](#_環境構築編)」を参照して、以下の設定を行います。

#### [2.1 SMBサーバー/ファイル共有の設定をする](#_①_SMBサーバー/ファイル共有の設定をする)

#### [2.2 SMBファイル共有に使用する共有ボックスを作成する](#_②_ファイル共有に使用する共有ボックスを作成する)

#### [2.3 短縮宛先の設定](#_③_短縮宛先の設定)

SMBファイル共有機能を利用するには、「[**3. 利用方法編**](#_利用方法編)」を参照してください。

#### [3.1 共有ボックスにファイルを保存する](#_①_共有ボックスにファイルを保存する)

#### [3.2 PCからファイルにアクセスする](#_②_PCからファイルにアクセスする)

その他、関連設定については、「[**4. 補足**](#_補足)」を参照してください。

#### [4.1 SMBフォルダー内文書削除時間設定](#_4.1_SMBフォルダー内文書削除時間設定)

[**4.2 IPアドレスの確認/設定方法**](#_4.2_IPアドレスの確認/設定方法)

PCにログインしているユーザーが同時に利用可能なパスワードを設定した共有ボックスは、複合機1台につき1つだけです。

# 環境構築編

#### 2.1 SMBサーバー/ファイル共有の設定をする

本機をSMBサーバーとして動作させるための設定をします。サポートするSMBプロトコルの設定や、SMBファイル共有の設定をします。

・本設定には管理者権限が必要です。

・本手順で設定した内容を「[**設定情報一覧**](#_②_PCからファイルにアクセスする)」に記入して、利用するユーザーに展開してください。

1. 操作パネルから、[設定メニュー]-[管理者設定]-[ネットワーク設定]-[SMB設定]-[SMBサーバー設定]を押します。
2. [使用する]を選択します。
3. [SMBサーバー共通設定]を押します。
4. 各種設定を行います。

| 設定 | 説明 |
| --- | --- |
| [SMBホスト名] | 本機のホスト名を入力します(半角15文字以内)。   * 本設定の名称がPCからアクセスする際のネットワーク上のホスト名となります。 |
| [ワークグループ] | 本機が所属するワークグループ名を入力します(半角15文字以内)。  初期値は[WORKGROUP]です。 |
| [SMB認証プロトコル] | 本機で使用するSMB認証プロトコルを選択します。 Windows10を使用するネットワーク環境の場合、本設定では、[SMB2.0]または[SMB3.0]が含まれているSMB認証プロトコルを選択してください。 |
| [SMB署名設定] | お使いの環境に合わせて、本機のSMB署名を有効にするかどうかを選択します。[要求時のみ]を選択します。 |

1. [閉じる]を押します。
2. [SMBファイル共有設定]を押します。
3. [使用する]を選択して、[閉じる]を押します。
4. [OK]を押します。
5. [閉じる]を押して、トップ画面に戻ります。

#### 2.2 SMBファイル共有に使用する共有ボックスを作成する

SMBファイル共有に使用する共有ボックスを作成します。

* 本手順で設定した内容を「**[設定情報一覧](#_②_PCからファイルにアクセスする)**」に記入して、利用するユーザーに展開してください。

1. 操作パネルから、[設定メニュー]-[宛先/ボックス登録]-[ボックス登録]-[共有/個人ボックス]-[新規登録]を押します。
2. 各種設定を行います。

| 設定 | 説明 |
| --- | --- |
| [ボックス番号] | ボックスの登録番号です。[ボックス番号]は、空いている小さい数字から自動的に登録されます。番号を指定したいときは、[ボックス番号]を押してから、1～999999999の範囲で入力します。 |
| [ボックス名] | ボックスの名前を入力します(半角20文字/全角10文字以内)。 |
| [パスワード] | ボックスの利用をパスワードで制限する場合は、パスワードを入力します(半角64文字以内)。 |
| [検索文字] | ボックスを[ボックス名]でインデックス検索できるように、該当する文字を選択します。 |
| [ボックスタイプ] | ユーザー認証や部門管理の状況により、[共有]/[個人]/[グループ]を選べます。 SMBファイル共有機能を使う場合は、[共有]を選択します。 |
| [ボックス内文書削除時間] | ボックスにファイルを保存した日時、または最後に印刷、送信した日時から、自動的に削除するまでの時間を設定します。   * 本設定は共有ボックス内のファイル削除設定です。SMBフォルダー内のファイル削除設定については「[**4.1 SMBフォルダー内文書削除時間設定**](#_①_SMBフォルダー内文書削除時間設定)」を参照してください。 |
| [親展受信機能] | ボックスに親展受信機能を付加するかどうかを選択します。  [しない]を選択します。 |
| [SMBフォルダーへの文書自動登録] | [使用する]を選択します。   * [SMBファイル共有設定]が[使用する]の場合に表示されます。 表示されない場合は「[**2.1 SMBサーバー/ファイル共有の設定をする**](#_①_SMBサーバー/ファイル共有の設定をする)」を参照してください。   [SMB通信の暗号化]：共有ボックスに対する、クライアントとのSMB通信を暗号化するかどうかを選択します。暗号化した場合、Windows7以前のOSではSMB3.0のクライアントがサポートされていないのでアクセスできません。   * 暗号化を行うには、ボックスにパスワードが設定されている必要があります。 |

・個人ボックスおよびグループボックスはSMB共有設定できません。

・SMBフォルダーは最大300個作成できます。

1. [OK]を押します。
2. [閉じる]を押して、トップ画面に戻ります。

#### 2.3 短縮宛先の設定

SMBファイル共有に使用する共有ボックスへの短縮宛先を登録します。

1. 操作パネルから、[設定メニュー]-[宛先/ボックス登録]-[ファクス/スキャン宛先登録]-[短縮宛先]-[ボックス保存]-[新規登録]を押します。
2. 各種設定を行います。

| 設定 | 説明 |
| --- | --- |
| [登録番号] | 宛先の登録番号です。[登録番号]は空いている小さい数字から自動的に登録されます。番号を指定したいときは、[登録番号]を押してから、番号を入力します。 |
| [登録名] | 宛先の名前を入力します(半角24文字/全角12文字以内)。  登録する宛先に、わかりやすい名前をつけます。 |
| [登録名ふりがな] | 登録名のふりがなを入力します(半角24文字/全角12文字以内)。  宛先を登録名順に並替えることができます。 |
| [検索文字] | 宛先を登録名でインデックス検索できるように、該当する文字を選択します。  たとえば、登録名が「ジェイムズ」の場合は、[さ]を選択します。  よく送信する宛先は、あわせて[常用(よく使う宛先)]も選択します。 [常用(よく使う宛先)]を選択すると、宛先がファクス/スキャンモードのトップ画面に表示されるため、宛先の指定が簡単になります。 |
| [ボックス] | [共有]を選択して、保存先のボックスを選択します。   * 本設定では「**[2.2 SMBファイル共有に使用する共有ボックスを作成する](#_②_ファイル共有に使用する共有ボックスを作成する)**」で作成した共有ボックスを選択します。 |

1. [OK]を押します。

# 利用方法編

#### 3.1 共有ボックスにファイルを保存する

スキャンモードから共有ボックスにファイルを保存する方法を説明します。

* ボックスモードから共有ボックスにファイル保存することもできます。

1. 原稿ガラスまたはADFに原稿をセットします。
2. [ファクス/スキャン]を押します。
3. [登録宛先から]で保存するボックスを選択します。

* ここで選択するボックスは「[**2.3 短縮宛先の設定**](#_③_短縮宛先の設定)」で登録したボックスの宛先です。

1. 必要に応じて、ボックス保存のオプション設定をします。
2. スタートを押します。保存が開始されます。

* ファイルが共有ボックスに保存されると、汎用ファイルに変換されたのちSMBフォルダーにもファイルが保存されます。
* ファクス受信文書、コピーモード、プリンタードライバー、USBメモリー、Bluetooth対応機器から保存したファイルは、ネットワーク上でSMB共有できません。

#### 3.2 PCからファイルにアクセスする

SMBフォルダーに保存されたファイルにPCからアクセスする方法を説明します。

**設定情報一覧**

SMBフォルダー内のファイルへのアクセスに必要な設定情報です。事前に本機管理者に確認してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 複合機のSMBホスト名 |  |
| 複合機のIPアドレス |  |
| ボックス番号 |  |
| ボックス名 |  |
| ボックスパスワード |  |

<Windowsの場合>

* Windows10で説明します。

1. デスクトップ、スタートメニュー、またはタスクバーから、複合機にアクセスします。

* 見つからない場合はアドレスバーに直接「\\SMBホスト名」または「\\複合機のIPアドレス」を入力します。  
  SMBホスト名について詳しくは「[**2.1 SMBサーバー/ファイル共有の設定をする**](#_①_SMBサーバー/ファイル共有の設定をする)」または「[**設定情報一覧**](#_②_PCからファイルにアクセスする)」を参照してください。  
  IPアドレスについて詳しくは「[**4.2 IPアドレスの確認/設定方法**](#_4.2_IPアドレスの確認/設定方法)」または「[**設定情報一覧**](#_②_PCからファイルにアクセスする)」を参照してください。



「\\複合機のIPアドレス」

「\\SMBホスト名」

1. SMBフォルダーをクリックします。  
   フォルダー名は「ボックス番号(9桁)\_ボックス名」になります。

・共有ボックスにパスワードが設定されている場合、共有ボックスを参照するとき、次のIDとパスワードで認証します。  
ID：ボックス番号  
パスワード：ボックスに設定したパスワード

・パスワードを設定した共有ボックスを参照したあと、他のパスワードを設定した共有ボックスを参照するには、PCの再起動が必要です。

1. 本機でスキャンしたファイルが格納されています。  
   ファイルをドラッグ＆ドロップして、PCにダウンロードします。

* ・スキャンした文書を削除する場合、SMBフォルダー内のファイルと共有ボックスの文書、両方を削除してください。

・共有ボックスを経由してSMBフォルダーに保存したファイルを自動的に削除するまでの時間を設定できます(初期値：[1日])。詳しくは、「[**4.1 SMBフォルダー内文書削除時間設定**](#_①_SMBフォルダー内文書削除時間設定)」をごらんください。

<Macの場合>

* macOS 10.13で説明します。

1. Finderウィンドウを開いて、Finderのサイドバーの「共有」から複合機にアクセスします。

* 見つからない場合は[Finder]-[サーバへ接続]から、サーバーアドレスに直接「SMBホスト名」または「複合機のIPアドレス」を入力して[接続]をクリックします。  
  SMBホスト名について詳しくは「[**2.1 SMBサーバー/ファイル共有の設定をする**](#_①_SMBサーバー/ファイル共有の設定をする)」または「[**設定情報一覧**](#_②_PCからファイルにアクセスする)」を参照してください。  
  IPアドレスについて詳しくは「[**4.2 IPアドレスの確認/設定方法**](#_4.2_IPアドレスの確認/設定方法)」または「[**設定情報一覧**](#_②_PCからファイルにアクセスする)」を参照してください。



「SMBホスト名」



「複合機のIPアドレス」

・共有ボックスにパスワードが設定されている場合、共有ボックスを参照するとき、次のIDとパスワードで認証します。  
ID：ボックス番号  
パスワード：ボックスに設定したパスワード

・パスワードを設定した共有ボックスを参照したあと、他のパスワードを設定した共有ボックスを参照するには、接続解除またはPCの再起動が必要です。

1. SMBフォルダーを選択して、[OK]をクリックします。  
   フォルダー名は「ボックス番号(9桁)\_ボックス名」になります。
2. 本機でスキャンしたファイルが格納されています。  
   ファイルをドラッグ＆ドロップして、PCにダウンロードします。

* ・スキャンした文書を削除する場合、SMBフォルダー内のファイルと共有ボックスの文書、両方を削除してください。

・共有ボックスを経由してSMBフォルダーに保存したファイルを自動的に削除するまでの時間を設定できます(初期値：[1日])。詳しくは、「[**4.1 SMBフォルダー内文書削除時間設定**](#_①_SMBフォルダー内文書削除時間設定)」をごらんください。

# 補足

#### 4.1 SMBフォルダー内文書削除時間設定

SMBファイル共有機能を使って、共有ボックスのファイルをネットワーク上で共有している場合に、共有ボックスを介してSMBフォルダーにファイルを保存した日時から、自動的に削除するまでの時間を設定します。

* 本設定には管理者権限が必要です。

1. 操作パネルから、[設定メニュー]-[管理者設定]- [環境設定]-[ボックス設定]-[次画面]-[SMBフォルダー内文書削除時間設定]を押します。
2. 自動的にファイルを削除するまでの時間を選択します。  
   ファイルを残す場合は、[削除しない]を選択します。
3. [OK]を押します。

#### 4.2 IPアドレスの確認/設定方法

SMBファイル共有機能を利用するには、本機がネットワークに接続されている必要があります。ネットワーク接続に必要なIPアドレスの確認/設定方法について説明します。

<確認方法>

1. 操作パネルから、[設定メニュー]-[装置情報表示]を押します。
2. 本機のIPアドレスが表示されます。

<設定方法>

・本設定には管理者権限が必要です。

・本手順で設定した内容を「[**設定情報一覧**](#_②_PCからファイルにアクセスする)」に記入して、利用するユーザーに展開してください。

1. 操作パネルから、[設定メニュー]-[管理者設定]- [ネットワーク設定]-[TCP/IP設定]-[IPv4設定] (IPv6の場合は[IPv6設定])を押します。
2. お使いの環境に合わせて、[IP確定方法]から[自動取得]または[直接入力]を選択します。
3. [OK]を押します。